

津駅西口及び東口エリア整備の方向性

＜津駅東口エリアの整備イメージ＞

津駅東口駅前広場

多様な交通機能を集約させた交通ターミナルと、官民連携による複合建築物の整備、駅前広場・デッキの一体的な整備などにより、乗り換えの利便性向上、防災機能向上、にぎわい・滞留空間の創出、都市拠点としての魅力・価値向上などを目指します。

津駅東西自由通路

東口と西口を直結する東西自由通路の新規整備による立体的な空間の活用により、津駅東口との快適で安全な移動経路の確保を目指します。

＜津駅西口エリアの整備方針＞

津駅西口駅前広場

令和7年3月に策定した基本計画に基づき、駅前広場の再整備を進めることで交通整序化などを図り、駅利用者の安全性・利便性の向上を目指します。

駐輪場

駐輪場を再編し整序化・機能強化します。

にぎわいの創出

これまでになかった津駅西口の憩いの場として、にぎわい・滞留空間の創出を目指します。

今後の事業推進イメージ

津駅西口		東西自由通路	津駅東口			
●津駅西公共自転車等駐車場に係るPPP/PFI(官民連携)導入可能性調査概略設計 ●津駅西口駅前広場基本計画の策定		●PPP/PFI(官民連携)導入可能性調査(プレサウンディング)概略設計	●集約型交通ターミナル交通拠点の機能強化の必要性等の調査 ●県道津停車場線再整備(ほこみち)概略検討			
津駅周辺基盤整備の方向性(ビジョン)の策定						
駐輪場	西口駅前広場	東西自由通路	道路空間		県道津停車場線	市街地再開発事業
			交通ターミナル	空間の活用		
●整備スキームの策定	●西口駅前広場詳細設計	●鉄道事業者との協議 ●取組の具体化	●取組の具体化(交通機能、防災機能、交流等機能)	●複合建築物PPP/PFI(官民連携)サウンディング調査	●取組の具体化	●市街地再開発事業の事業化の促進
●駐輪場工事	●西口駅前広場工事	●東西自由通路工事	●集約型交通ターミナル工事	●複合建築物工事	●ほこみち工事	
●駐輪場整備完了	●西口駅前広場整備完了		●東西自由通路整備完了	●集約型交通ターミナル整備完了	●複合建築物整備完了	
	●ペDESTリアンデッキ工事			●ペDESTリアンデッキ整備完了		
	●ペDESTリアンデッキ 整備完了		●先進モビリティへの対応			

津駅周辺基盤整備の方向性(ビジョン)

概要版

津駅周辺基盤整備の基本理念

「みえ県都の顔となり、地域の活力を引き出し、災害にも強い空間へ」

津駅周辺基盤整備のコンセプト

【西口】市民の安心・快適な移動を支える西口

【東口】交通結節機能が強化され広域から人が集まりにぎわいや憩いの場がある東口

【東西連携】様々な人が東西を行き交い 交流が生まれる

津駅周辺エリアは、行政・商業・業務・教育・文化・医療・福祉・交流などの多様で高次な都市機能が集積し、市民や来訪者が都市的サービスを楽しむことができる中心的な都市核であるとともに、複数の公共交通路線が乗り入れる重要な交通結節点となっています。現在の津駅周辺空間が形成され半世紀が経過し、施設の老朽化への対応など、様々な課題が増えてきており、令和2年5月の道路法改正を契機とし、津駅周辺の道路空間再編に向けた検討を始め、令和4年3月に「津駅周辺道路空間の整備方針」を策定しました。

この「津駅周辺基盤整備の方向性(ビジョン)」については、今後、国、三重県及び本市が連携した津駅周辺基盤整備の取組を加速させた上で、整備方針を具体化することを目的に、これまで三者が実施した調査や実験等により把握してきた津駅周辺地区の特性や課題を踏まえ、津駅周辺地区において目指す将来像を示すことを目的としています。

みえ県都の顔となり、地域の活力を引き出し、災害にも強い空間へ

津駅周辺基盤整備の方向性(ビジョン)の全文はこちらからご覧いただけます

津駅周辺基盤整備の方向性(ビジョン)  
令和7年7月 津市建設部建設政策課



# 津駅周辺の将来イメージ

## 課題①

### 公共交通

- ・多様な交通モードの集約化、駅前広場内の交通整序化
- ・安全快適な歩行空間の確保と乗降スペース再配置
- ・広域交通拠点としての機能強化に資する案内誘導の充実
- ・新型モビリティ、先進モビリティに対応する施設の確保

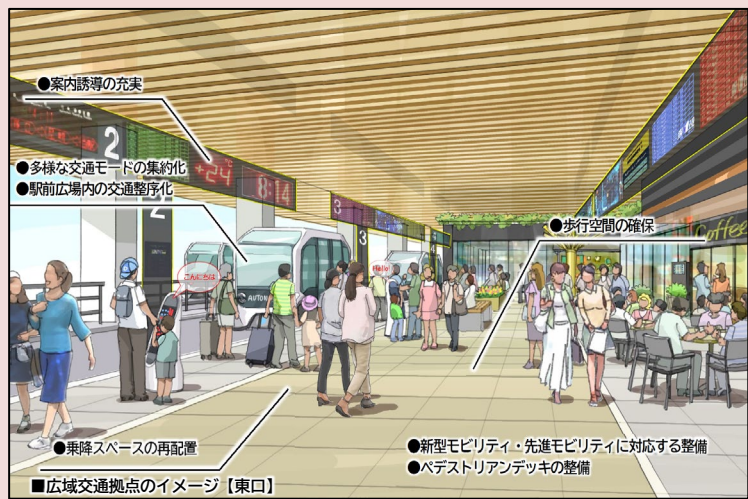
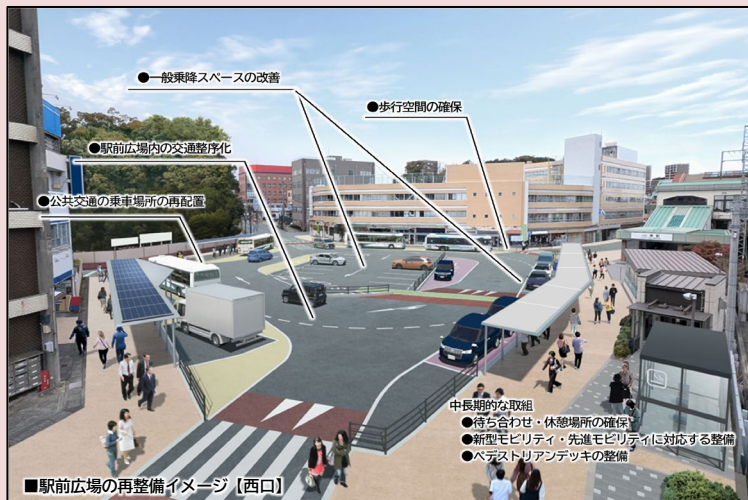
## 目標①

誰もが使いやすく快適に移動できる

駅周辺の**交通結節機能**の充実

### 「交通結節機能」の整備の方向性

- ❖多様な交通モードの円滑な走行環境と交通ターミナルとしての強化を目指します。
- ❖安全性の高い歩行空間と利便性の高い乗換機能の強化を目指します。



## 課題④

### 東西連携

- ・駅東西を直結し、駅利用者が安全・快適かつ効率的な往来や公共交通の乗換が可能な東西移動経路の確保
- ・東西地域の交流の起点となるような東西移動経路の創出

## 目標④

東西の地域がつながり、交流が深まる

駅を中心とした**東西連携**の強化

### 「東西連携」の整備の方向性

- ❖駅利用者等が快適・効率的に東西を往来できる東西自由通路の整備を目指します。
- ❖駅を中心とした東西地域間の交流促進につながる整備を目指します。

## 課題②

### 防災

- ・立体かつ安全な移動経路を確保するための新たな通路の確保
- ・駅利用者等が災害発生時に一時的に避難できる空間の確保
- ・災害発生時に備えた施設整備など、駅周辺の防災機能の確保

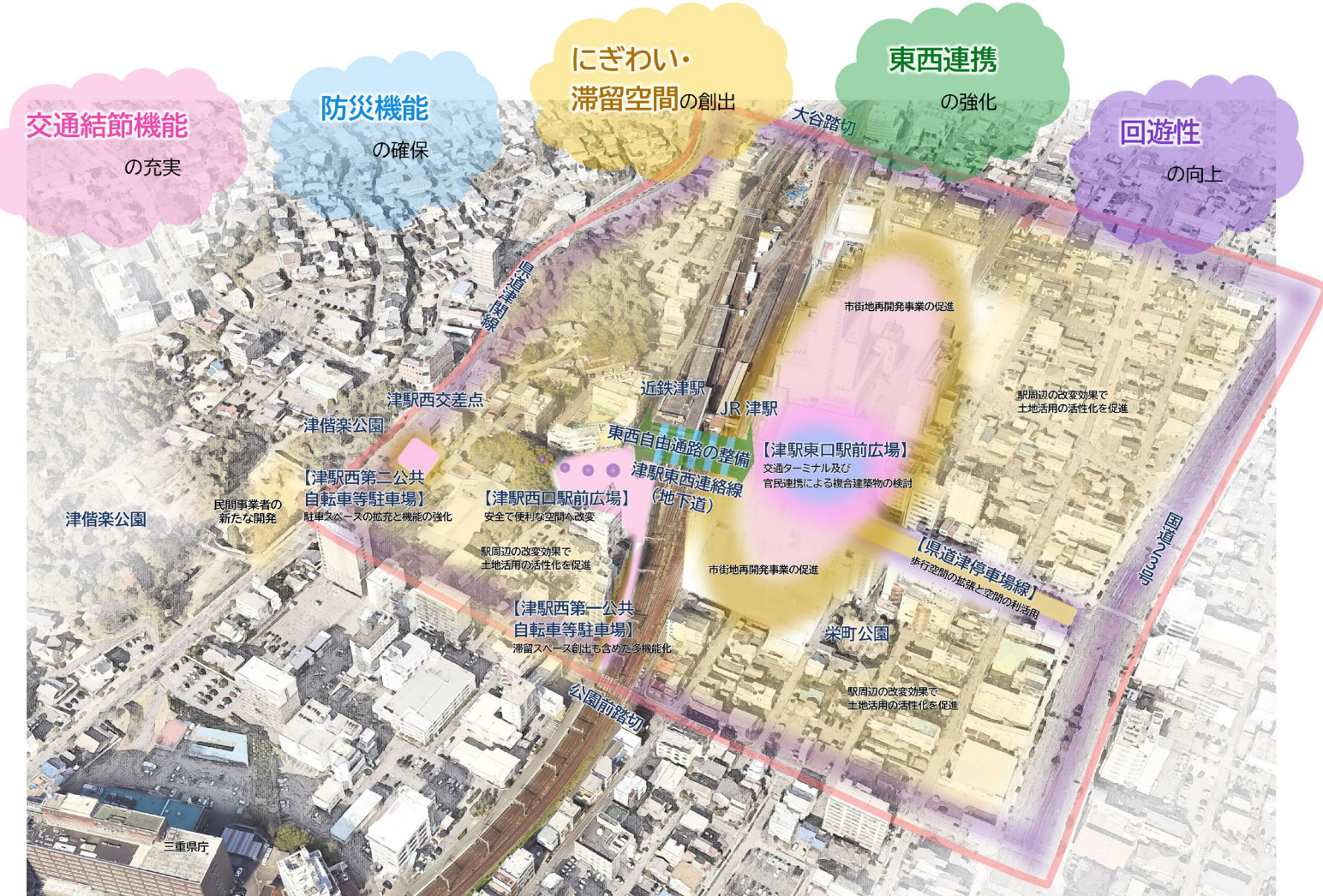
## 目標②

安全に利用でき、災害に強い空間をつくる

駅周辺の**防災機能**の確保

### 「防災機能」の整備の方向性

- ❖災害発生時の一時的な避難場所や帰宅困難者の受入空間の確保を目指します。
- ❖災害発生時の情報提供・避難誘導等の拠点として活用を目指します。



■災害発生時に一時的な避難が可能となるデッキ空間のイメージ（上記は平常時の様子）

## 課題③

### にぎわい・滞留

- ・県都の玄関口として、商業、業務、居住などの多様なニーズに対応できる、施設整備等による魅力ある駅周辺空間の創出
- ・憩いや新たな交流の場となる、にぎわい滞留空間の創出
- ・周辺土地利用を促進するための再開発事業の事業化

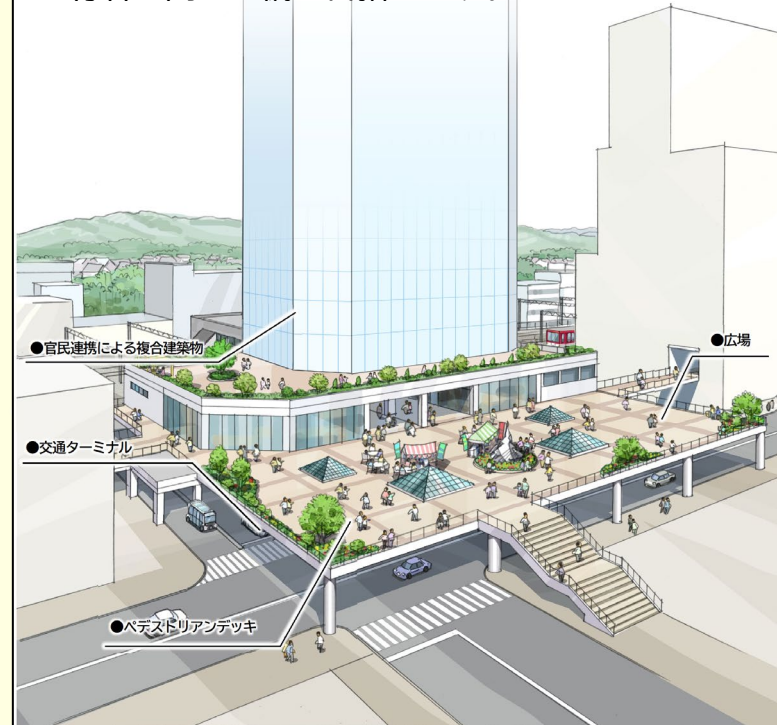
## 目標③

多様な人々が集い、都市拠点の魅力が向上する

官民連携による**にぎわい・滞留空間**の創出

### 「にぎわい・滞留空間」の整備の方向性

- ❖商業、業務、居住などの多様なニーズに対応するため、官民連携も含めた施策により、地域の活力を引き出し、都市拠点としての魅力向上を目指します。
- ❖まちと駅をつなぐ、歩いて楽しい、駅前通りの歩行者空間の整備を目指します。



■交通ターミナルと一体となった官民連携による複合建築物のイメージ

## 課題⑤

### 回遊性

- ・駅利用者が目的地まで円滑に移動可能な案内機能の充実
- ・駅周辺を誰もが安心して楽しく歩きたくなる環境の創出
- ・新型モビリティ等によるラストワンマイルの移動支援

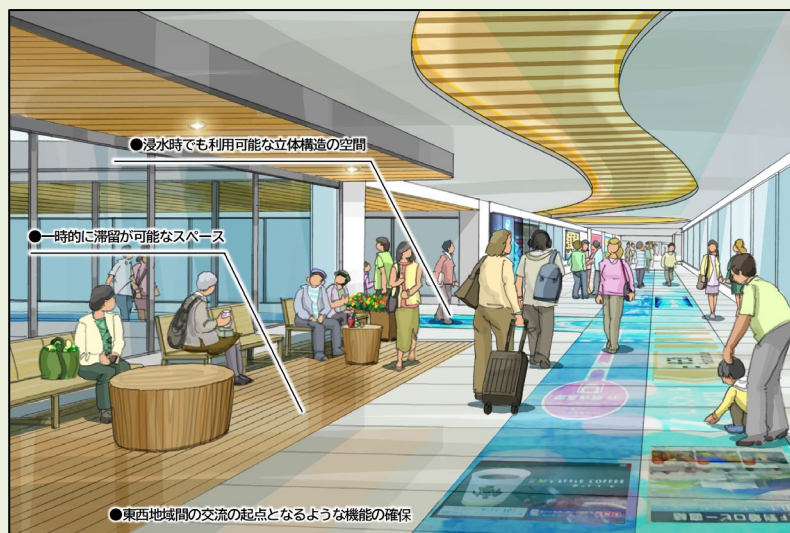
## 目標⑤

駅を拠点に、自然に人が集まる

駅とまちなかの**回遊性**の向上

### 「回遊性」の整備の方向性

- ❖誰もが安心して楽しく歩けるような駅周辺の歩行者空間の整備を目指します。
- ❖駅周辺のエリアにおける新たな魅力スポットの創出による駅周辺一帯のにぎわい創出を目指します。



■一部滞留スペースを設けた新たな東西自由通路のイメージ



■駅周辺への回遊を促進するための多様な情報と交通モードが行き交う空間のイメージ